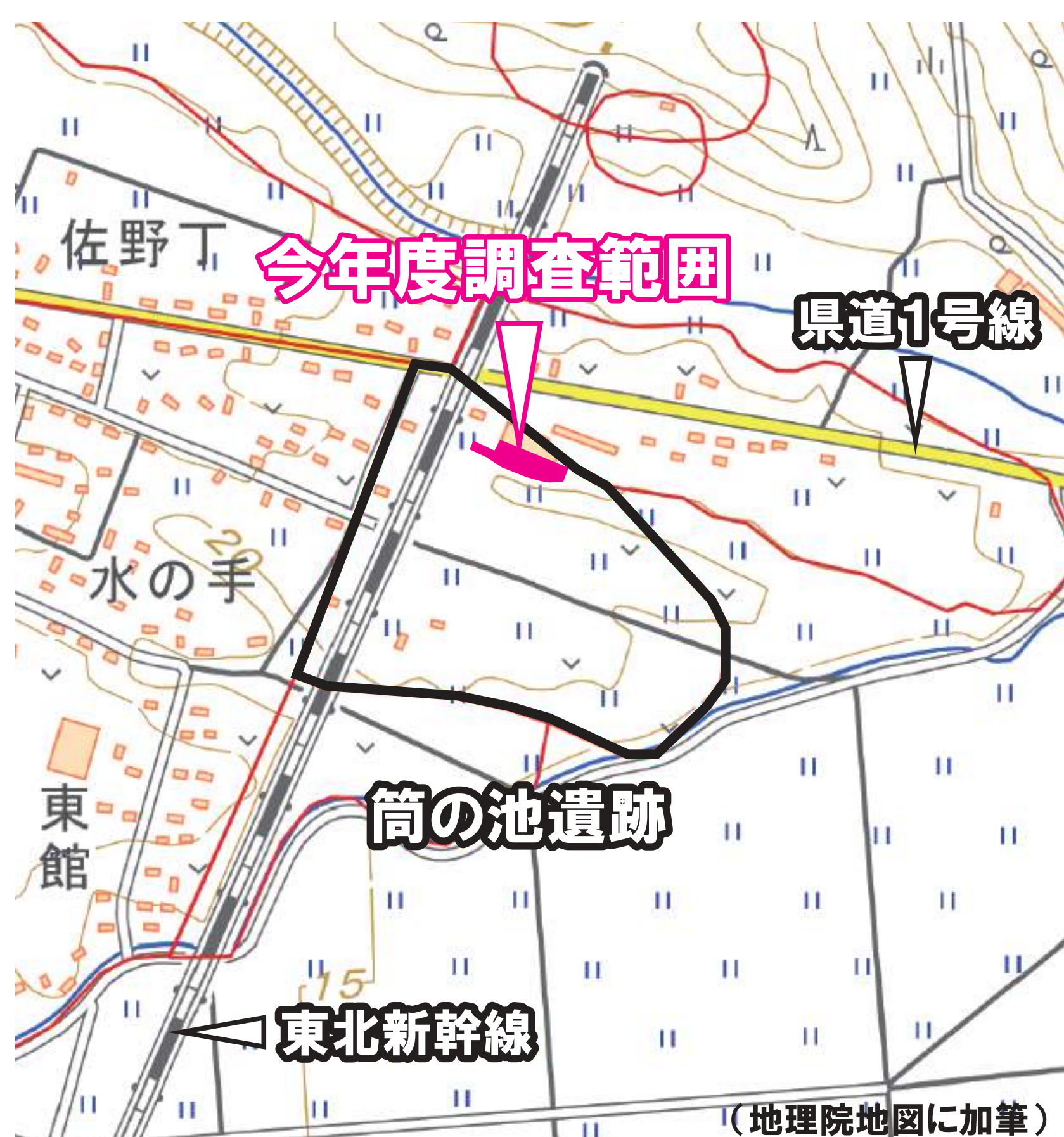




発見！大型の竪穴建物跡

③筒の池遺跡（栗原市高清水大寺、太子堂）



栗原市高清水の市街地東端部に位置し、河岸段丘上にある縄文・古墳・奈良・平安時代の遺跡です。

令和3年度から工場整備に伴う発掘調査が栗原市教育委員会により行われています。

令和6年度の調査では、古墳時代中ごろ（5世紀ころ）の竪穴建物跡4棟などがみつき、一辺約8.9mと大型のものもありました。

県内でも、これほどの規模をもつ竪穴建物跡は、これまであまりみつかっておらず、注目されます。



▲ 竪穴建物跡1（東から）

南半部が確認され、北半部は調査区の外に延びていました。平面形は方形で、規模は東西約 8.9m、南北 6 m 以上ありました。



▲ 古墳時代中ごろの竪穴建物跡の分布

これまでの調査で、5 棟の竪穴建物跡がみつかっています。竪穴建物跡 1 以外は一辺約 7.7m ～ 4.6m の規模でした。



▲ ^{はじき}土師器が出土した様子

竪穴建物跡 2 から出土した土師器です。縁の部分の直径は約 14cm ありました。

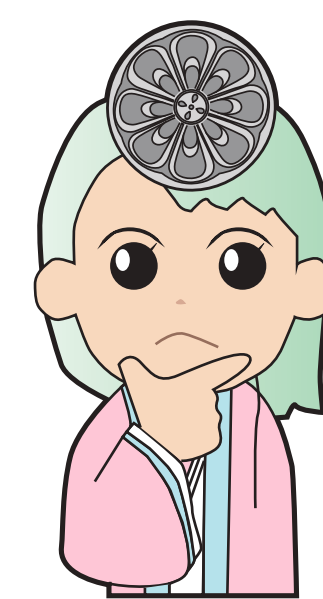
Rengemon Chat



ちょうさいんさん

この時代の竪穴建物跡はどれくらいの大きさが普通なの？

栗原市内では^{だいてら}大寺遺跡、^{ひがしだて}東館遺跡、^{ちょうじゃはら}長者原遺跡などで古墳時代中ごろの竪穴建物跡が確認されていますが、一辺約 4 ～ 6 m の規模が多く、8 m を超えるものはほとんどみつかりません。



れんげもんちゃん

協力：栗原市教育委員会